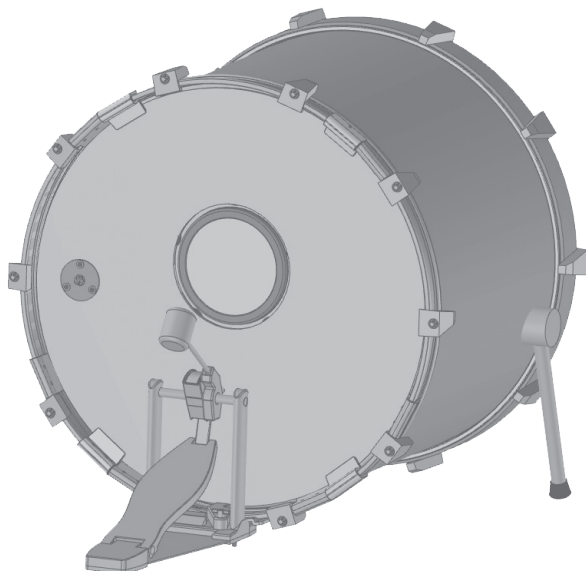


はじめに

KD-A22 は、22 インチのアコースティック・バス・ドラムに取り付けることができます。

完成図

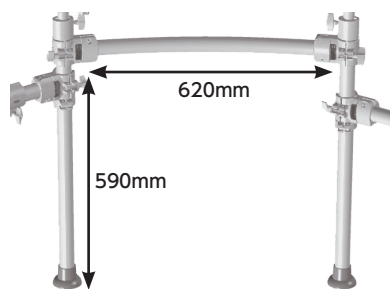


※ 22 インチ・アコースティック・バス・ドラムは、製品に含まれません。

ドラム・スタンド (MDS-50K / MDS-50KV) を使う場合

MDS-50K / MDS-50KV では、バス・ドラム設置部の間口サイズは以下のとおりです。

縦： 590mm
横： 620mm



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(P.6) をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

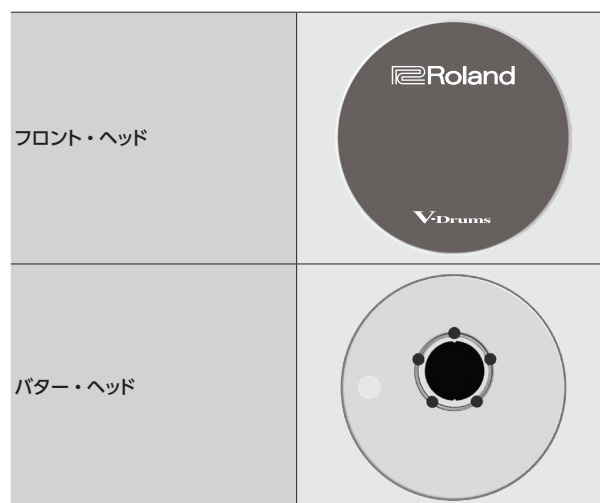
© 2016 ローランド株式会社

 クイック・スタート・ビデオのご案内
「KD-A22 を取り付ける」
<http://roland.cm/kd-a22>



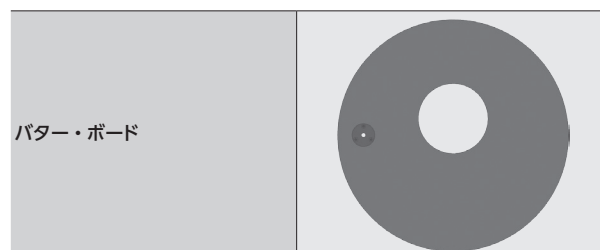
同梱物の確認

パッケージを開けたら、同梱物に不足がないか確認してください。不足しているものがあつたときは、購入した販売店へお問い合わせください。



ご注意！

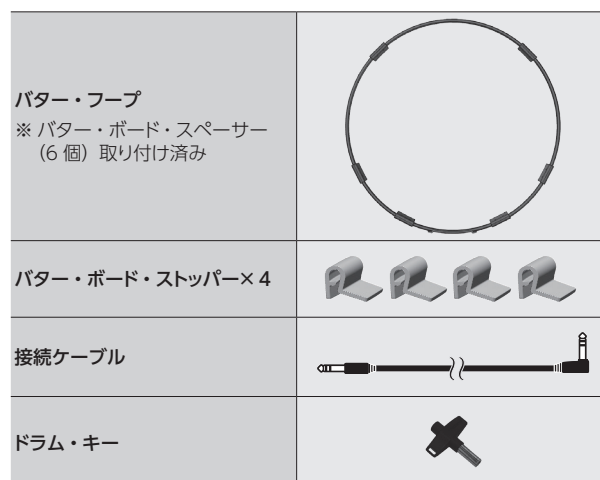
バター・ヘッドに付いているケーブルを引っ張らないでください。



ご注意！

バター・ボードには基板が付いています。ケガ、破損や故障を防ぐため、以下の点に注意してください。

- 基板に指が触れないようにしてください。
- 基板のある面を下にして置かないでください。
- 基板に無理な力をかけないでください。



KD-A22 の取り付けかた

取り付け時の注意

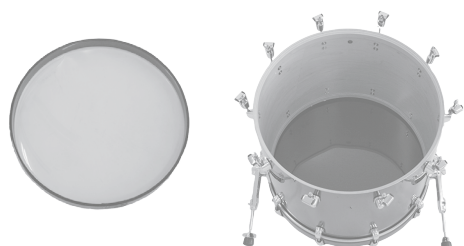
- 床やドラム本体へのキズ防止のため、マットなどを敷いて作業してください。
- バス・ドラムを裏返すときは、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ミュート（ウェイトや毛布など）は不要です。バス・ドラムから取り出してください。また、取り付け後にミュートを入れないでください。

1. バター・ヘッドの取り付け

1. 打面側ヘッドが上になるように、バス・ドラムを置きます。



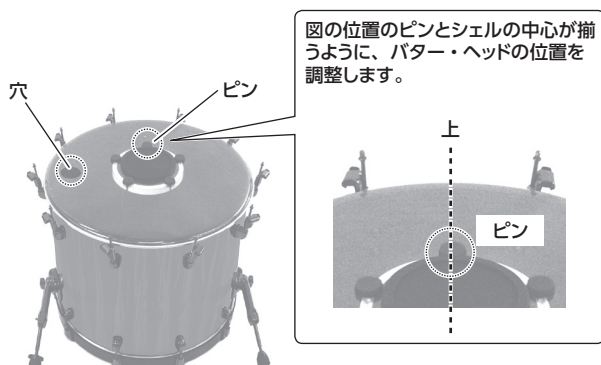
2. ラグをゆるめて、フープとヘッドをはずします。



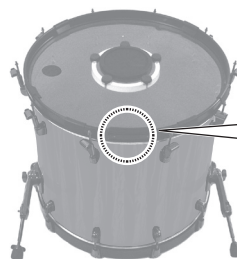
3. バター・ヘッドの穴が図の位置になるように、バター・ヘッドをシェルの上に置きます。

ご注意！

バター・ヘッドの置きかたは、シングル・ペダルを使う場合を想定しています。ツイン・ペダルの場合、使用するキック・ペダルによっては、バター・ヘッドの穴位置を調整する必要があります。詳しくは、「ツイン・ペダルを使う場合」(P.5) をご覧ください。



4. バター・フープをバター・ヘッドの上に置き、バター・フープとバター・ヘッドの中心が揃うように、バター・フープの位置を調整します。

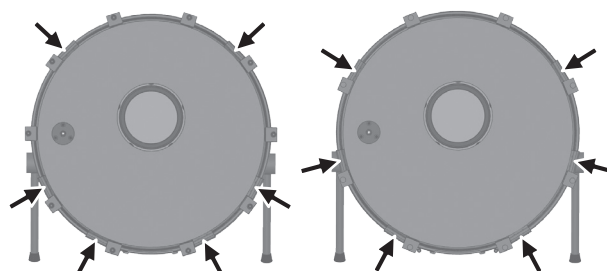


バター・フープは、ペダル取り付け金具がこの位置になるように、バター・ヘッドの上に置きます。

5. バター・フープに取り付けられているバター・ボード・スペーサーを、図の位置に移動させます。

ラグが 10 個のバス・ドラムの場合

ラグが 8 個のバス・ドラムの場合



6. 各ラグを対角線を結ぶ順で、ラグのガタつきがなくなるところまで軽く締めます。



7. さらに、すべてのラグを 3/4 回転させて、バター・ヘッドを固定します。

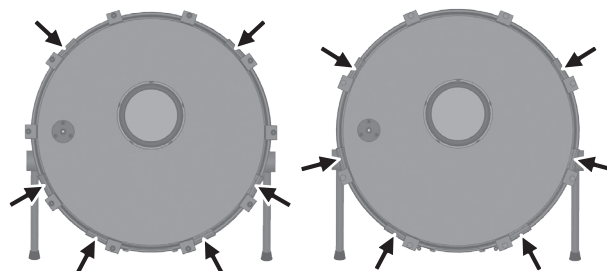
ご注意！

バター・ヘッドの締め付けが弱いと、センサーの誤動作や、打撃音が大きくなる原因になります。

8. バター・フープに取り付けられているバター・ボード・スペーサーを矢印の方向に動かして、ラグに密着させます。

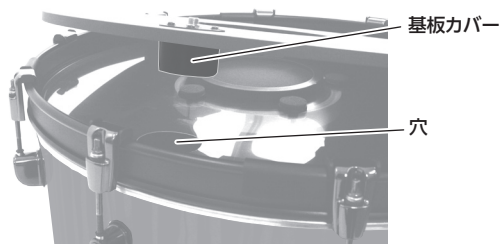
ラグが 10 個のバス・ドラムの場合

ラグが 8 個のバス・ドラムの場合



2. バター・ボードの取り付け

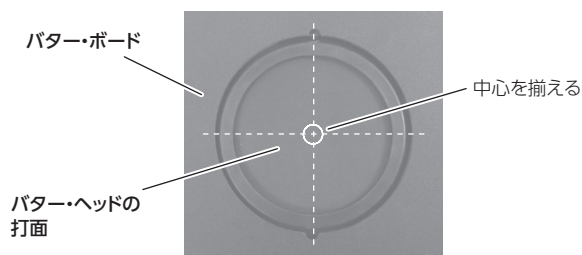
1. バター・ボードの基板カバーとバター・ヘッドの穴を合わせながら、バター・ボードを置きます。



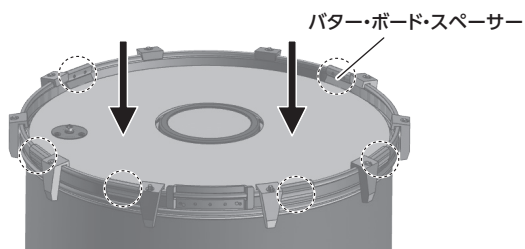
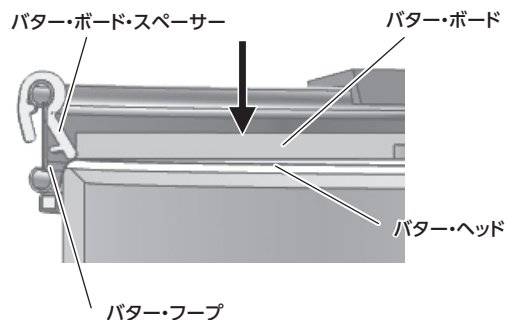
ご注意!

バター・ボードの基板カバーが、バター・ヘッドの上に乗ったり穴に引っ掛かったりしないようにしてください。無理に取り付けをしようとすると、基板/基板カバーやバター・ヘッドが破損する原因になります。

2. 図のように、バター・ヘッドの打面の中心とバター・ボードの穴の中心が揃うように位置を調整します。



3. バター・ボードを軽く押し込んで、バター・ヘッドに密着させます。



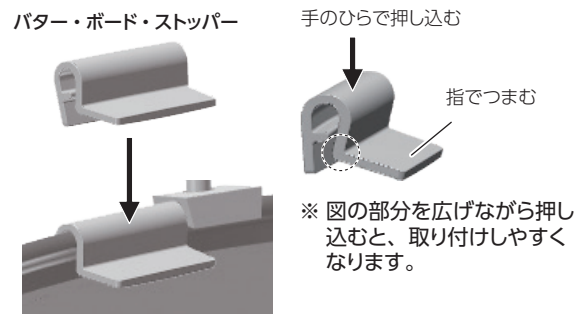
3. バター・ボード・ストッパーの取り付け

バター・ボード・ストッパー（4個）を、バター・フープに取り付けます。

ご注意!

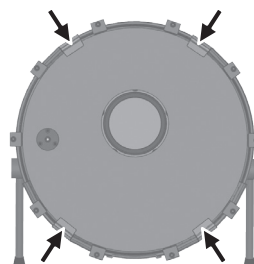
取り付け時、手がラグに当たってケガをしないように注意してください。

1. 手がラグに当たらない位置で、バター・ボード・ストッパーを上から押し込みます。

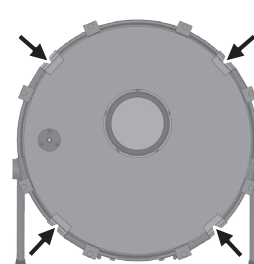


2. バター・ボード・ストッパーを、図のように配置します。

ラグが10個のバス・ドラムの場合



ラグが8個のバス・ドラムの場合



4. コネクターの接続

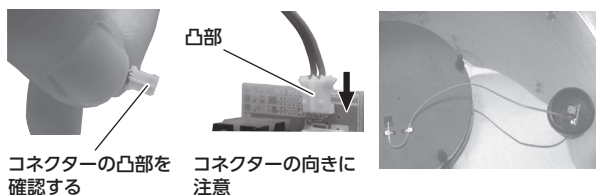
1. バス・ドラムを反転させ、フロント側が上になるように置きます。



2. ヘッドとフープをはずします。



3. コネクターを基板に接続します。



【ご注意！】

基板（特に基板の縁や端子部）に指が触れないようにしてください。ケガや故障の原因になります。

5. フロント・ヘッドの取り付け

1. シェルの上にフロント・ヘッドを置きます。



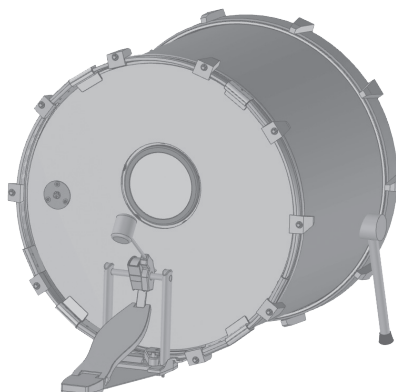
2. フープを置き、各ラグを対角線を結ぶ順で、ラグのガタつきがなくなるところまで軽く締めます。



3. さらに、すべてのラグを 3/4 回転させて、フロント・ヘッドを固定します。

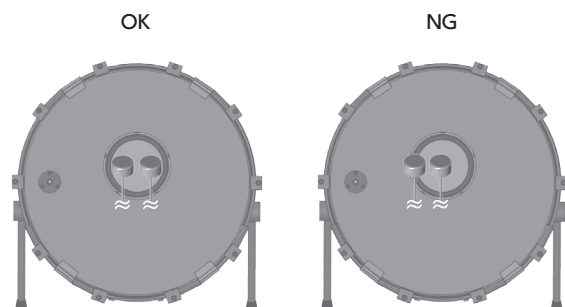
6. キック・ペダルの設置

1. バス・ドラムを起こして、キック・ペダルを設置します。



ツイン・ペダルを使う場合

KD-A22 は、ツイン・ペダルを使用することもできます。
2つのピーターの打点位置は、バター・ヘッドの打面の中心から左右対称になるように設置してください。

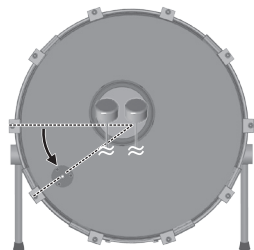


ご注意!

キック・ペダルによっては、2つのピーターの打点位置がバター・ヘッドの打面の中心から左右対称になるように、バス・ドラムに取り付けられないことがあります。

ラグが 10 個のバス・ドラムの場合

バター・ボードの端子の中心が 1 つ下のラグの位置になるようにバター・ヘッドとバター・ボードの取り付け位置を調整してください。



ラグが 8 個のバス・ドラムの場合

上図と同じ位置を目安に、2つのピーターの打点位置がバター・ヘッドの打面の中心から左右対称になるように、バター・ヘッドとバター・ボードの取り付け位置を調整してください。

取り付け完成後の注意事項

バター・ボードをはずす場合

必ずフープとフロント・ヘッドをはずし、コネクタを抜いてからバター・ボードをはずしてください。

コネクタを抜かずにバター・ボードをはずそうとすると、コネクタの破損や断線、基板の破損や故障の原因になります。

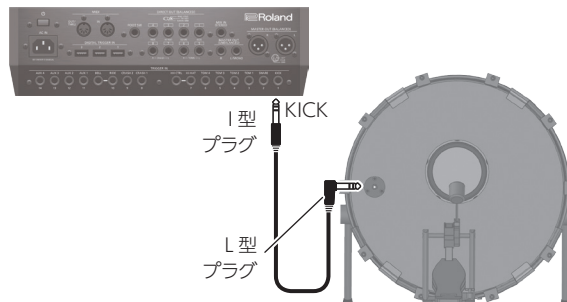
移動／運搬する場合

移動／運搬する前に、必ずキック・ペダルをはずしてください。
破損や故障の原因になります。

ドラム音源と接続する

KD-A22 をドラム音源に接続します。
付属の接続ケーブルで接続してください。
接続ケーブルの L 型プラグを KD-A22 の端子に接続します。

例：TD-50



推奨パラメーター設定

KD-A22 を各音源でご使用になるときのトリガー・パラメーターの推奨設定値です。

KD-A22 の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によって、トリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。

設定方法は、各音源の取扱説明書をご覧ください。

TD-50	
Trig Type	KDA22
TD-30	
Trig Type	KD140
Sensitivity	7
Threshold	7

※ 2 度鳴りするときは、「Mask Time」を 40ms に設定してください。また、「Threshold」の値を大きくして、感度を調整してください。

主な仕様

ローランド KD-A22：キック・ドラム・コンバーター

対応アコースティック・バス・ドラム・サイズ	22 インチ
トリガー	1
接続端子	標準タイプ
質量	4.0kg (アコースティック・バス・ドラム、キック・ペダルを除く)
付属品	取扱説明書、保証書

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。 ※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	○は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、○の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



警告

次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



警告

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切つて、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様が使用する場合は、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



注意

電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



移動するときはすべての接続をはずす

ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。



使用上のご注意

設置について

- 至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がかけられないように注意しましょう。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

商標について

- Roland、V-Drumsは、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標、または登録商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Q&A、チャットサポート、メール、電話でのお問い合わせ

Roland製品

https://roland.cm/roland_support

BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



'21. 04. 01 現在